

歴史・景観まちあるき 開削350周年 まるごと体感！徳島堰ツアー 活動報告

開削350周年
まるごと体感！徳島堰ツアー

開削工からゴールまで、バスと徒歩(約5km)で徳島堰をまるごと17km体感！

2020.11/21 (土) am8:30集合・バス出発 ~pm3:00

【要申込・集合】ふるさと文化伝承館(本館休館)先着40名
南アルプス市野牛島2727 Tel.055-282-7408



【活動概要】

南アルプス市都市計画課では景観啓発活動の一環として景観まちあるき事業を行っています。

R2年度は、韮崎市から南アルプス市を流れる全長17kmの「徳島堰」をめぐるツアーを南アルプス市・韮崎市教育委員会との共催で開催しました。

両市の教育委員会からはその歴史や仕組みを解説し、都市計画課からはそれら史跡を通じて山梨県の景観の特徴や魅力を感じていただけるようなお話をしながら、秋の里山を探訪しました。

【活動日】

令和2年11月21日(土) 午前8時30分～午後3時

【活動場所】

韮崎市円野町～南アルプス市飯野新田
(取水口)～(堰の終わりまで)

【参加者】

約40名+スタッフ10名程度(地域の語り部さん含)

【主催】

南アルプス市・韮崎市両教育委員会、都市計画課

【活動成果】

参加者の感想…「韮崎市(田園)と南アルプス市(果樹園)の違いが楽しかった」、「徳島堰の意味を知ったうえで眺めた景観に意味があった」、「よく見ていたが説明を聞いて素晴らしいことに気がついた」など、好意的な意見や感想をいただきました。

良い景観って何だろう？～景観について考えてみよう～

これを読んでいただいている方にお聞きします。客観的に見てよい景観と悪い景観は存在すると思いますか？
右側の写真をご覧ください。これは南アルプス市中野にある棚田の風景です。これは良い景観だといえるでしょうか。
この写真の中で皆さんは何が印象に残りますか？おそらく棚田や真後ろにそびえる富士山ではないでしょうか。それはきっとあなたがこの写真の中で棚田や富士山が見たから。
良い景観の一例として「見たいものが、邪魔されずに見えること」これが良い景観に必要なことの一つではないでしょうか。



・良い景観とは「見たいものが、邪魔されずに見えること」

身近な景観づくりをしてみませんか？



皆さんお住いの地域を思い浮かべてみてください。道路沿いに花壇や生け垣があるまちなみは住む人にはもちろんのこと、そこを通る人にもうのおいとしやすさを与えてくれます。
南アルプス市では、自宅敷地の道路沿いに花壇や生け垣を新設する市民の方に対して一部補助を行っています。
普段の生活の中で身近なところから景観づくりをしてみませんか？

・南アルプス市花壇・生け垣推進に関する補助金交付制度
※補助制度には要件がありますので詳しくはHPを検索！

南アルプス市役所都市計画課

〒400-0166 山梨県南アルプス市野牛島2727 詳しい内容はこちら ▶ 検索 花壇・生け垣 南アルプス市
TEL 055-282-6391 FAX 055-282-6319